

「小さな町での小さな協働」

地域と民間企業等の 協働による津波防災

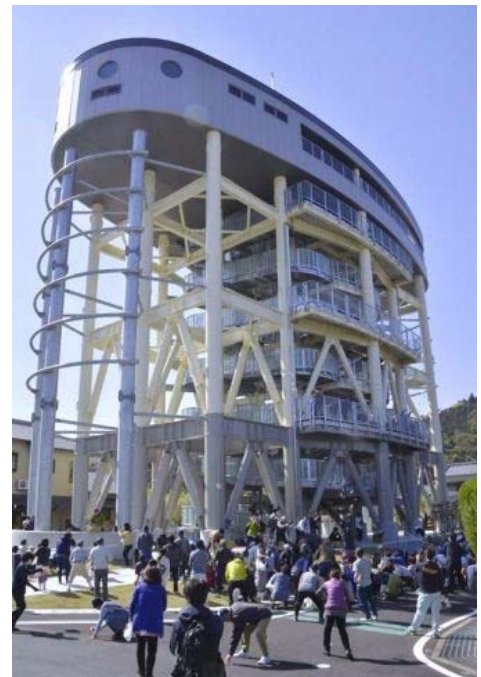
矢守 克也

(京都大学防災研究所・教授)

高知県黒潮町・土佐佐賀漁港

高知県黒潮町

人口1万1千人、カツオ、くじら、キャンプ場、サーフィン、
らっきょう、砂浜美術館・・・34メートルの津波





今年で26回目となる、黒潮町砂浜美術館で開催された「Tシャツアート展」



「対策」ではなく 「思想」を創る

住民と900回のコミュニケーション

●高知県黒潮町

「34ブランドの缶詰」



組織形態：第3セクター

雇用創出、地元産品の販促、備蓄品、非常食から日常食へ（7大アレルギーフリー）、
「We-can-project」、無印良品との提携



取扱製品

電機機器メーカー



配电箱・分電盤



ブレーカ

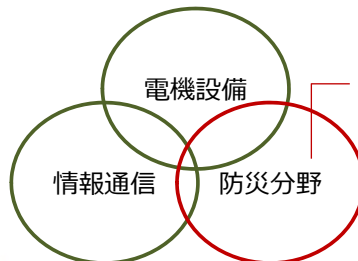


キャビネット



システムラック

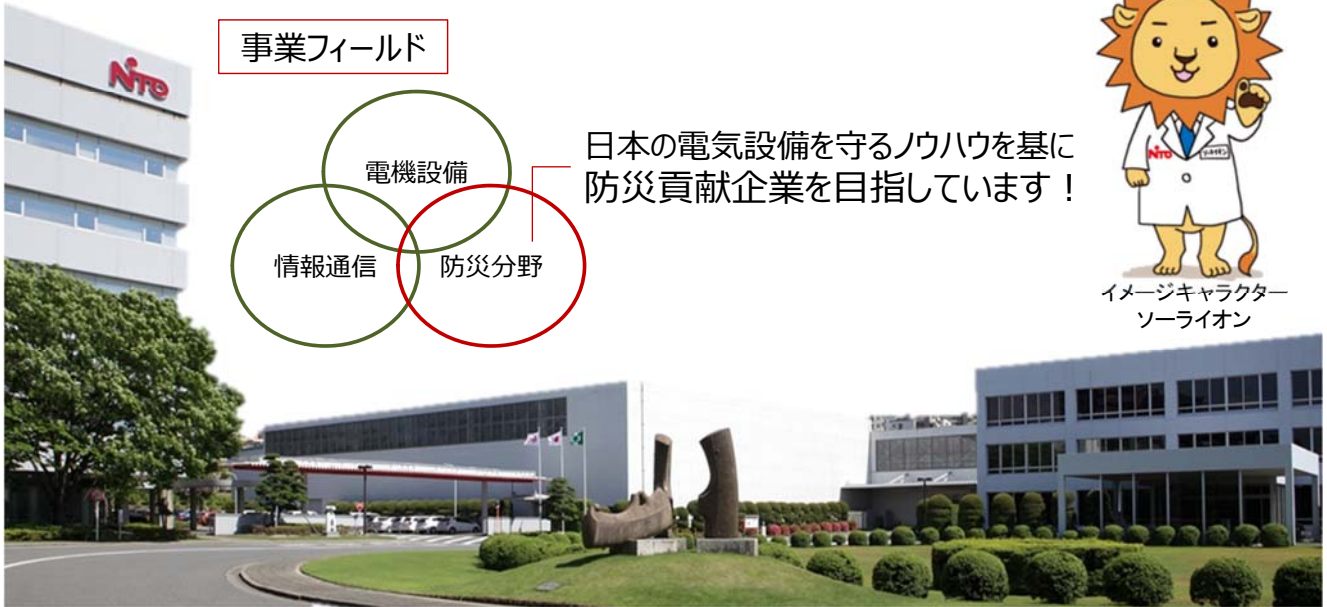
事業フィールド



日本の電気設備を守るノウハウを基に
防災貢献企業を目指しています！



イメージキャラクター
ソーライオン



高知県黒潮町での取り組み 産官学連携

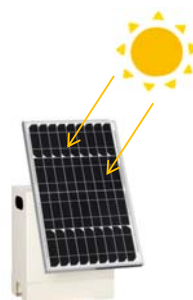
平常時における津波避難施設の有効利用をめざした実践研究会

目的	津波避難施設の平常時の新たな価値の創出と災害時により良く機能するような維持管理方法の創出
メンバー	京都大学防災研究所、名古屋工業大学、高知県黒潮町役場、日東工業
取組み	独立電源システムを通常時と災害時に活用することを目的とした取り組みを開始 「地域に即した製品活用」という目的から、私たちが重視している 「防災製品の日常使い」 を地域の方々や地元高校生とともに検証していく



独立電源システム（可搬型）

- ☞ 太陽光発電により電気を利用
- ☞ 通常時は工事現場、イベント会場で
災害時は避難所などで使用可能
- ☞ 簡易設置で使用でき、持ち運びが容易



通常時

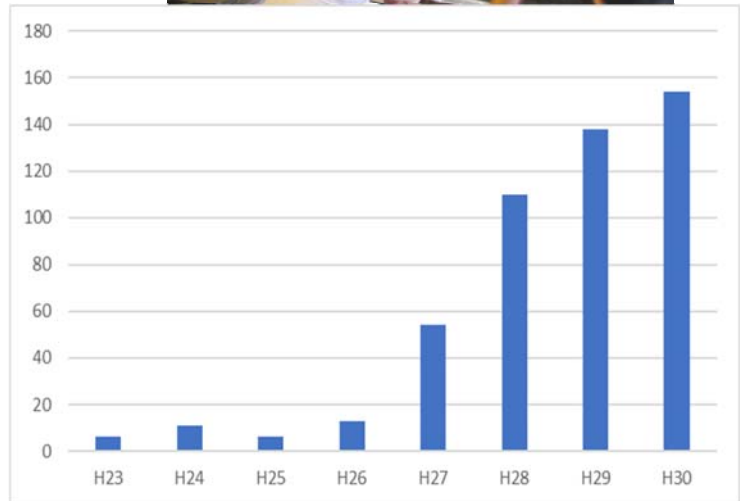


災害時



地元工務店による耐震化プロジェクト

- 津波避難の前提: 木造家屋の耐震化推進(住宅総数7400戸、耐震性問題あり4300戸、「43億円ビジネス」)
- 耐震化の推進と地元工務店の活性化という一挙両得
- 工務店向け、住民向けの講習会の実施、工務店の登録
- 耐震化診断、工事の補助経費の上乗せ(現在110万円)



砂浜美術館Tシャツアート展



私たちの町には美術館がありません、
美しい砂浜が美術館です。

「砂浜美術館」
組織形態：NPO法人
ホエールウォッチング
スポーツ合宿
Tシャツアート展
砂像コンテスト
漂流物展示会
：
そして
防災ツーリズム



ありがとう
ございました
「未来に残った町」
(奈路広さん、黒潮町在住)